農業分野におけるAI・データに関する 契約ガイドライン

~農業分野のデータ利活用促進とノウハウの保護のために~

令和2年3月 農林水産省

本ガイドラインの読み方

本ガイドラインは

- ・ノウハウ活用編 (AI編)
- ・データ利活用編 (データ編)
- の2編から構成される。

「ノウハウ活用編(A I 編)」は、農業関係者等(農業関係者、農業指導普及員等)が 持つノウハウ等を活用して、A I などを利用したシステムやサービスに反映させたり、あ るいはノウハウを含むデータを用いて、システムやサービスを利用したりする場合の取決 めに関する留意事項や条項例を示している。

「データ利活用編(データ編)」は、スマート農業全般で用いられることが想定される 農業関係者が持つデータについて、その利活用のために研究機関や企業等、プラットフォ ーム事業者などに提供する際の農業関係者の利益を配慮した条項例や留意事項を示すもの である。

ノウハウの活用に際しては、データの利活用が前提になることから、ノウハウ活用編は データ利活用編に記載されている内容を基本としつつ、特にノウハウ活用に求められる内 容を中心に、記載しているものである。

データ利活用編は、農業分野におけるデータの全般の提供関係を取り扱う。そのため提供関係以外の、研究開発やシステム・サービス利用の際の当事者関係などは示さないことから、AI以外のシステム・サービスの研究開発や利用における取決め内容を決める際の参考にしうる。

システム・サービスンウハウを活用したAI等の

ノウハウ活用編

対象範囲: AIを含むICTを活用した研究開発・利用の各段階の ノウハウを含むデータや知的財産権の利用権限等に

関する契約を網羅

データ提供関係全般

データ利活用編

(「農業分野におけるデータ契約ガイドライン」(平成30年 12月)改訂)

対象範囲:農業分野のデータ提供関係全般に関する取決め

必要に応じて相互に参照